

1		点
[問 1]	6	5
[問 2]	$x = -2, y = 3$	5
[問 3]	4 個	5
[問 4]	$\frac{5}{16}$	5
[問 5] 解答例		5

※ の欄には、記入しないこと

小計	1	小計	2	小計	3	小計	4

2		点
[問 1]	$y = -\frac{2}{3}x + \frac{1}{3}$	7
[問 2] 解答例	【 途中の式や計算など 】	10
[問 3]	$a = \frac{3}{7}$	8

合計得点	受検番号

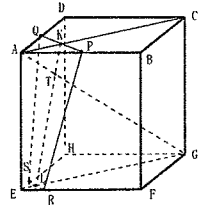
3		点
[問 1]	35 度	7
[問 2] 解答例	(1) 【 証明 】	10
[問 2]	(2) $6\sqrt{3}$ cm ²	8

[問 2]	(2)	$6\sqrt{3}$ cm ²	8
-------	-----	-----------------------------	---

4		点
[問 1]	(1) $8\sqrt{2}$ cm ²	7
[問 1]	(2) 52 cm ³	8
[問 2] 解答例	【 途中の式や計算など 】	10
[問 2]	(2) $\frac{9\sqrt{3}}{7}$ cm	8

点 P, Q は 8 秒で、点 R, S は 24 秒で頂点 A, E に戻るので、
 $x = 2017$ のとき、点 P は辺 AB 上の頂点 A から 3cm、
 点 Q は辺 AD 上の頂点 A から 3cm、
 点 R は辺 EF 上の頂点 E から 1cm、
 点 S は辺 EH 上の頂点 E から 1cm
 の位置にある。

$\triangle APQ, \triangle ERS$ は、それぞれ $AP=AQ, ER=ES$ の
 直角二等辺三角形であるから、三平方の定理より、
 $PQ = 3\sqrt{2}$ (cm), $RS = \sqrt{2}$ (cm) ... ①
 線分 AC, EG と垂直に交わる線分 PQ, RS の交点を
 K, L とすると、点 K, L は線分 PQ, RS の中点であるから、
 $\triangle KAP, \triangle LER$ も、 $KA=KP, LE=LR$ の
 直角二等辺三角形である。



$AK = PK = \frac{1}{2}PQ$
 $EL = RL = \frac{1}{2}RS$... ②
 ①②より、 $AK = \frac{3\sqrt{2}}{2}$ (cm)
 $EL = \frac{\sqrt{2}}{2}$ (cm)
 $\triangle EFG, \triangle AEG$ は、直角三角形であるから、
 三平方の定理より、 $EG = 6\sqrt{2}$ (cm), $AG = 6\sqrt{3}$ (cm)

$\triangle TKA$ と $\triangle TLG$ において、
 平行線の錯角は等しいから、
 $AC \parallel EG$ より、 $\angle TAK = \angle TGL$
 対頂角は等しいから、 $\angle ATK = \angle TGL$
 よって、2組の角がそれぞれ等しいので、 $\triangle TKA \sim \triangle TLG$
 対応する辺の比について、 $AT:GT = AK:GL$
 $AT:(6\sqrt{3} - AT) = \frac{3\sqrt{2}}{2} : (6\sqrt{2} - \frac{\sqrt{2}}{2}) = 3:11$
 $3 \times (6\sqrt{3} - AT) = 11 \times AT$ よって、 $AT = \frac{9\sqrt{3}}{7}$ (cm)

(答え) $\frac{9\sqrt{3}}{7}$ cm